

実験 動植物倶楽部

はじめに

コラム「実験動植物倶楽部」は、奈良女子大学附属中等教育学校の矢野幸洋先生が開発・研究した教材（『SSHブックレット理科4 生物のとびら ー実験植物から学ぶー』（2015、奈良女子大学附属中等教育学校））の蓄積に基づいて作成しています。

矢野先生は教材を作られるにあたり、次のように記しています。

教科書を見ると、美しいカラー写真が扉を飾っています。その美しさに生徒が感動するのは大切なことです。それに加えて、教師がその名前の由来やその植物の特性などを語ったら、生徒たちはその植物をもっと身近に感じ、親しみもわくことと思います。
（『生物のとびら』はじめに）

このような立場から、『生物のとびら』は一人でも多くの生き物好きの生徒や理科好きの生徒を掘り出すことを期待し、分類学習の手助けや教師が実験教材についての一言内容を膨らませるために、作成されました。その内容は、理科の実験でよく使う植物にスポットを当て、実験でのことだけでなく文化的な面も含めて、解説がなされています。ですから、中高生向けの教材として活用できるだけでなく、大学生や一般の人の好奇心や探究心をも刺激する魅力的なものとなっています。

そこで今回、よりたくさんの方の目に触れられるよう、ウェブ上のCORE of STEMのホームページで公開することにしました。また新たにコラボレーション企画として、「さらに気になるあなたへ」の加筆を、CORE of STEMの方で行っています。

コラムのテーマは、「実験に使う動植物」です。そのため学術的な扱いとして、動植物の名称は、原則的にカタカナ表記を用いて掲載しています。われわれはこのコラムを通じ、身近な植物や動物の神秘に触れ、生き物が好きになる、あるいは探求や学問を始めるきっかけ作りになればいいと考えています。